

発行所  
八尾市消防団  
発行責任者  
八尾市消防団長  
向井正雄  
八尾市高美町5-3-4  
TEL(072)992-0119  
FAX(072)992-7722  
H28-204



平成29年1月9日(月)、大阪府中部広域防災拠点において、新春恒例の消防出初式が挙行されました。

当日は、前日からの雨も上がり例年に無く暖かい日になりました。式典は、大阪市消防局航空隊のヘリコプターからの本市救助隊員によるリペリング降下に始まり、幼年消防クラブ、自主防災組織、自衛消防隊、大学生の消防支援ボランティア(SAFETY)、自動車部隊、消防職員、消防団員による分列行進が行われました。

田中市長からお言葉を頂いた後、長年地域の防災に貢献した消防団員に対して市長表彰、団長表彰が贈られました。

訓練では、北西方面隊による小型ポンプ操法が披露され、規律よくスピード感に溢れた素晴らしい操法でした。

また、消防救助隊による災害対応訓練が披露され、最後は防災協力団体、消防職員、消防団員による一斉放水で見事な水のアーチで幕を閉じました。

最後になりましたが、ご観覧頂きました来賓の皆様や市民の皆様ありがとうございました。

◆(久宝寺八分団 笠 光浩)

大規模災害に備えて



八尾市消防団長 向井 正雄

皆様には、平素から地域の安全・安心を守るため、昼夜を分かたず防火・防災活動にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

昨年の災害状況を振り返りますと、「震度7」の揺れを2回も記録し、甚大な被害が発生しました熊本地震を始め、阿蘇山の噴火、また、鳥取県中部でも「震度6弱」を記録する地震など、自然災害が多数発生しました。

さらに、年末には、新潟県糸魚川市で大規模火災が発生し、延焼建物が147棟に及ぶなど甚大な被害となったことは、記憶に新しいところでは。

また、近年ますます発生が危惧されており、南海トラフ巨大地震のことなどを考えますと、本市においても、いつ大災害が発生してもおかしくない状況にあります。

そんな中、ひとたび災害が発生すれば、先陣を切って災害現場に駆けつけ、果敢に活動する消防団には、市民から大きな信頼と期待が寄せられています。

大規模災害に立ち向かい、市民の安全・安心を確保するためには、ますます地域と消防の結びつきを強化することが重要となります。

また、高度な装備・技術を持つ常備消防と地域に密着し大きな動員力を持つ消防団、さらには、自主防災組織など地域の総力を結集し一体となる総合的な防災力の充実強化を進める必要があります。

他市においては、年々、団員のサラリーマン化、高齢化等により、消防団員の確保に苦慮している状況でございますが、幸い本市におきましては団員皆様のご尽力をいただきまして、条約定数である280名を割ることなく地域の安全・安心に貢献できていますことに感謝申し上げます。

最後に、団員の皆様、そして日頃から団員を支えていただいておりますご家族の皆様のお力をお借りし、ご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げます。



大阪府消防表彰受章

平成29年3月18日(土)、平成28年度大阪府消防表彰式が行われ、本市からも大阪府知事表彰をはじめとして、多くの団員が栄えある表彰を受章しました。

【大阪府知事表彰】

○消防功労章

- 龍華分団 分団長 岡田真一
- 志紀分団 副分団長 吉内直之
- 南高安分団 副分団長 杉田 晃

【日本消防協会会長表彰】

○功績章

- 団本部 副団長 阪本俊勝
- 【大阪府消防協会会長表彰】

○功績章

- 団本部 副団長 阪本俊勝
- 永年勤続章

- 山本分団 分団長 阪本真人
- 志紀分団 分団長 森脇和信
- 勤続章

- 山本分団 副分団長 向井大二
- 志紀分団 副分団長 笹井伸彦
- 曙川分団 副分団長 濱口好之
- 志紀分団 部 長 越智章吏
- 山本分団 部 長 川田益司
- 勤功章
- 山本分団 副分団長 堤下富彦

- 志紀分団 副分団長 山科雅一
- 山本分団 副分団長 吉田健二
- 大正分団 副分団長 木田宗利
- 志紀分団 副分団長 西口泰弘
- 久宝寺分団 副分団長 吉川明憲
- 高安分団 副分団長 小田篤史
- 精勤章
- 大正分団 部 長 小林邦章
- 大正分団 部 長 中川憲一
- 山本分団 部 長 西田昌彦
- 志紀分団 部 長 野口 稔
- 高安分団 部 長 米澤晃尋
- 山本分団 部 長 山野 清
- 山本分団 部 長 塚尾誠一
- 山本分団 部 長 上野純孝
- 南高安分団 部 長 龜田正之
- 南高安分団 部 長 黒岡貞一
- 南高安分団 部 長 坂井貴光
- 南高安分団 部 長 西村成広
- 大正分団 部 長 西山孝文
- 志紀分団 部 長 山本剛久
- 八尾分団 部 長 今井 隆

【平成28年度大阪府水防表彰】

山本分団 副分団長 石井一夫  
長年にわたり水防に尽力した功績から石井副分団長が「大阪府水防表彰」を受賞されました。



若なる会親睦旅行

平成29年2月4日(土)、5日(日)熊本地震の視察研修を兼ねた親睦旅行に行ってきました。

1日目は、熊本城を視察しましたが、石垣は崩れ落ちており、今回の地震の大きさに驚きました。

2日目は、阿蘇に移動して阿蘇市危機管理課の職員と阿蘇市消防団長のお話を聞いた後、産神社に移動して地元消防団の鎌倉団員から地震直後の消防団員としての活動を聞き、今後発生が危惧されている南海トラフ巨大地震に備え、分団としてのマニュアルの必要性和災害が起こった時の消防団活動の大切さを改めて認識しました。

◆(高安分団 山中 篤)



文化財訓練に参加



平成29年1月26日(木)、八尾市本町の常光寺において、常光寺関係者、消防職員、消防団員が参加しての文化財訓練が実施されました。

常光寺は、奈良時代に創建したとされる歴史あるお寺で、本尊は地藏菩薩で、言わずと知れた河内音頭発祥の地です。

常光寺には、室町時代からの寺宝が現存しています。

訓練は、常光寺関係者による初期消火訓練及び重要文化財の搬出訓練が行われ、その後消防職員と消防団員による救出救護訓練及び一斉放水訓練が実施されました。

今回の訓練は、規律訓練や操法訓練とは違い、現場に即した動き

で、今後の現場活動にとって大きな経験となりました。

寺社仏閣は、意外と身近にあるものなので、日ごろから規律訓練や操法訓練を重ね、団員全員の技術向上を図っていき、いざ文化財を保有する建物火災に出場した際には、今回の経験を活かし活動したいと思います。

寒空の中、皆様、本当にご苦労様でした。

◆(八尾分団 影中 義和)

車輛更新(田井中分隊)



平成29年2月26日(日)、志紀分団田井中分隊の小型動力ポンプ付積載車が更新されました。18年ぶりとなる車両更新を私た

ち団員は、新人団員を迎え入れる心境で待ち望んでおりました。

この記念すべき日に、OB団員をはじめ、町会の方々にもお集まり頂き新車両を見て頂きました。

新車両はオートマチック車であり、小型動力ポンプの操作盤もシンプルで非常に使いやすくなっています。

装備品等は全てが真新しくこれからの活躍を待っているかのようです。

私達団員は、この新車両と共に「安全・安心」なまちづくりに貢献していくことを誓い合いました。

◆(志紀分団 目次 勇)

消防団現場活動用

バルーン灯籠

平成29年2月2日に宝くじ普及広報事業の一環として、コミュニティ助成事業助成金により、現場活動用バルーン灯籠器を新たに2台配備しました。



### 初級幹部課程

平成 28 年 10 月 30 日 (日)、大阪府立消防学校において、府下の消防団が集まり、初級幹部教育訓練が実施されました。

午前中は、「安全管理の原点」「安全管理の基本」「安全管理の心理分解」等の講義を受けました。

教室での講義後、屋外訓練場で訓練礼式、各個訓練を行い、基本的動作の反復訓練を実施しました。午後からは屋外訓練場で、放水訓練及びホース捌き、高圧放水による水圧を体験しました。

一人での水圧体験では、予想以上の水圧で力自慢の私でも身を持って補助者の重要さを痛感し、初級幹部教育で学んだことを生かし初心を忘れず、これからも消防団活動に務めたいと思います。

◆ (久宝寺分団 高田 卓)



### 現場指揮課程



平成 28 年 10 月 23 日 (日)、11 月 13 日 (日) の両日に、大阪府立消防学校において幹部科現場指揮課程を受講しました。

初日は、現場指揮・安全管理、救急救命訓練、火災防御、2 日目が災害情報・伝達訓練、水災活動 (水防工法) 等でしたが、入団して 7 年の間に漠然と身に付いたことを見直す事ができました。

近い将来、南海トラフ地震の発生が危惧されていますが、実際の程度の災害なのか全く予想も付きません。

しかし、今回受講した内容を少しでも災害現場で発揮できるように部下団員を指揮し、今後の消防団活動に取り組んでいきたいと思えます。

◆ (八尾分団 鈴木 卓也)

### 分団指揮課程

平成 29 年 1 月 22 日 (日)、大阪府立消防学校で開催された教育訓練「幹部科分団指揮課程」に山本分団の竹下部長と共に参加しました。

この訓練は、分団の指揮幹部としての自覚と組織の管理運営等の幅広い知識の向上を目指したものです。

具体的には、午前中「東日本大震災での消防団の活動事例と地域の防災力」と題して、当時現場で団員の命を預かる団長さんの苦渋の決断や団員として命を省みない活動と「東海地震、東南海・南海地震対策の現状」を DVD と防災アドバイザーの先生から学びました。

次に、消防学校教頭から「消防活動と安全管理」の講義を受けました。

消防は危険に向かう活動である為、「安全を管理」するよりも「危険を管理」しなければなりません。その為には「危険なもの危険と知る」事が重要であり、現場で消防隊が安全に活動するためには、判断できる者、判断を下せるも者

(指揮者) に危機情報等を、時機を失することなく報告しなければならぬ事等を教わりました。

午後は、図上訓練として「災害シミュレーションのクロスロードゲーム」と消防団幹部として南海トラフ地震が発生した際、どのような行動又は指揮をとるかグループで話し合いました。

一日の訓練でしたが、団の幹部として災害発生時に色々な場面で決断しなければならぬ大変さと大切さを学び、団員一人ひとりの命を預かっている立場として、団員すべてに「安全の感覚を身に付けさせる」事が必要であると感じました。

組織の安全管理を行うのは、責任を問われるからではなく、大切な団員、そしてその家族を守るためだと言うことを再認識し、近い将来この八尾市でも起こるであろう災害に備えて、活動に取り組んでいきたいと思えます。

◆ (久宝寺分団 岡井 淳治)



小型ポンプ課程



平成28年11月20日(日)、大阪府立消防学校において、小型ポンプ課程が行われ、志紀分団の河田団員と2名で参加しました。

午前中は、ポンプ内部の説明と中継送水の講習を受けました。

午後からは、屋外訓練場で、可搬ポンプの取り扱い業者2社から機械の取り扱い説明を受けた後、実際に操作し体験しました。

通常のポンプの取り扱いは出来ても、中継送水時の水圧の調整が難しかったことが印象的でした。

この講習に参加して、ポンプの取り扱いの難しさを実感出来ました。

◆(曙川分団 織田 和彦)

クリーンキャンペーンに参加

平成28年10月18日(火)、近鉄八尾駅周辺において、クリーンキャンペーンが開催されました。

当日は、プリズムホールにおいて、長年にわたり日常的に美化活動を実践してこられた方々に対し、感謝状の贈呈が行われました。

その後、市民や各種団体の方々約200名が参加し、近鉄八尾駅周辺を5コースに分け、路上喫煙マナー向上の呼びかけを行うとともに清掃活動を実施しました。

◆(大正分団 森口 正明)



林野火災訓練を実施

平成28年11月6日(日)、恩智神社東側の総池で訓練を行いました。

南高安分団は、山に面した立地ということもあり、毎年林野火災訓練を行っている分団です。

今までの訓練では、池の西面を水源にして車両で吸水し、池の東面から放水していましたが、今回は訓練内容を変更し、池の東側から可搬ポンプで吸水、ホースを伸ばし、水槽を2個中継して放水をする、今までは違った訓練でした。

南高安分団の方針である「いかなる現場」「いかなる想定でも」一人一人の役割や、「今自分が何をすべきか」を考えて訓練することを身を以て知ることが出来ました。

大規模災害に備えて、消防団も進化しなければならず、今回は大変貴重な経験が出来ました。今回の訓練は、消防団が進化するための第一歩と感じました。

◆(南高安分団 中川 元丞)



歳末特別警戒を実施

平成28年12月29日(木)と30日(金)の二日間にわたり、歳末特別警戒パトロールを実施しました。

29日には、消防長を始め消防団幹部と各種団体代表の方々が激励に来られました。

また、曙川分団では、分団長を始め、団員数名で地域の方々へのあいさつ回りも行いました。

消防団としましては、地域の方々に消防団活動へのご理解とご協力を賜り、より一層地域住民の方々と連携協力し、地域防災に役立てられたらと考えております。

◆(曙川分団 乾 智之)



**消防団・消防署ポンプ  
取扱い訓練に参加**



平成29年1月29日(日)、大阪府中部広域防災拠点において、消防団・消防署ポンプ取扱い訓練を実施しました。

今回の訓練は、近年、発生が危惧される南海トラフ巨大地震により、本市に大規模な火災が発生したとの想定で行われ、常備消防隊のみでは防御不能な現場において、私達消防団が第一線で防御するとの内容でした。

参加分団の10分団が午前・午後と5分団ずつに分かれ、それぞれ常備消防隊が訓練展示を実施した後、各分団が訓練時間を20分と想定し交代で訓練を実施しました。内容的には、車両からホースを

手びろめ延長した後、絡車ホースを結合、進行方向に互磯が散乱しているため、そこからさらに手びろめによるホースを延長。

次に、火点前方で分岐管を結合後、一口での放水態勢をとり、主火勢の標的を番号順に落下、さらに、隣接建物への延焼を阻止するため、分岐管から二口目を延長し隣接建物の標的を落下させ、続発火災が発生したとの想定で速やかに収納するとの内容でした。

今回の訓練に参加して、長距離でのホース延長、水が出るまでの所要時間、続発火災への対応等、今までに経験のない訓練内容であり、今後の災害や地震火災に対し、必要な手段と知識を学ぶことができたと思います。

◆(西部分団 澤田 広二)



**防火・防災をテーマにした  
土曜スクールの開催**



平成28年11月12日(土)、秋の全国火災予防運動に合わせ、上之島中学校で防火・防災をテーマに土曜スクールが開催されました。当日は、山本分団から上之島分隊及び上尾分隊も参加し、消防本部の方々と共に3つのプログラムに分かれ実施しました。

- ①防火・防災講話と消防団の役割や活動の紹介
- ②水消火器を使った初期消火訓練と煙中体験
- ③放水体験

我々消防団が担当した放水体験では、団員がそれぞれ補助しながら生徒一人ずつが筒先を持ち、実際にノズルを回してのストリート放水、噴霧放水などを体験してもらいました。

生徒達は、放水時の水圧の強さとホースの重量感に驚きながらも、筒先から飛び出す水の勢いに興奮しており、中には、「将来、消防士になりたいと思っているんです!」と言う未来の消防士にも出会う事が出来ました。

そして最後に、全校生徒及び教職員の皆さんが見守る中、消防団員による模範放水を披露させて頂きました。

短い時間ではありましたが、多くの生徒さんに防火・防災について興味や関心を持ってもらえた有意義な土曜スクールであったと感じています。

◆(山本分団 岩坂 将男)



**厚生事業ボウリング大会  
に参加**



平成28年11月19日(土)、厚生事業として毎年恒例となっているボウリング大会が、八尾ボウルアローにおいて開催されました。

田中市長をはじめ、各分団から166名の団員が参加しました。

所属分団はもちろんのこと、他分団の団員とも交流が図れ、楽しい時間を共有することが出来ました。

成績結果は、次のとおりです。

- 優勝 大正分団 辰巳 壽雄
  - 準優勝 志紀分団 西村 俊彦
  - 第三位 志紀分団 山科 輝明
- また、分団対抗優勝は大正分団

となりました。

このような厚生事業をきっかけにして、分団同士のつながりが強くなり、大災害が発生した際には、各分団が連携して団活動を実施できることを願っています。

◆(龍華分団 西田 寿)



**消防団員顔出しパネルの製作**

山本分団では、地元小学校の土曜スクールやその他各種イベントに参加する機会が増えたことを機に、子供たちへの消防団活動のアピールと防火意識の向上を目指し、八尾市消防団員をイメージした

「顔出しパネル」を製作しました。現在は、消防本部に保管していますが、各分団で実施、参加されるイベントなどで、活用していきたいだけばと思います。

◆(山本分団 阪本 真人)



**中河内防災フェアに参加**

平成28年11月26日(土)、「2016中河内防災フェア×メイザ!カエルキャラバン! in 久宝寺緑地」に参加致しました。

このイベントは、久宝寺緑地で毎年行われており、当日は、天候にも恵まれ、多くの人で賑わいました。

例年、東大阪市女性消防団員と合同でAED等を使用した普通救命講習を指導していましたが、今年、八尾市女性消防団員が単独でバルーンアートを用いた啓発活動を実施しました。



風船で、お花、剣等を作り、子供達にチラシと一緒に配りましたが、初めての試みだったので、活動をするにあたって女性団員4名で講習を受けました。

しかし、作っている間にだんだんコツをつかみ、ハートや、犬まで作れるように上達しました。

最後に、私は、八尾市消防団に入団して3年が経ちました。

現在6名で活動しておりますが、将来的には女性消防団員は、10名を目指しております。

また、4月には新しい団員が入団致しますので良き先輩として、皆さんの手本となるよう精進し今後の活動に務めたいと思います。

◆(団本部 中谷 美和子)

### 女性消防団員による 防火診断

平成28年10月15日(土)、消防職員と女性消防団員3名が合同で、ひとり暮らしをされている高齢者を対象に、各自宅を訪問する防火診断をしました。

コンロ周りに燃えやすい物は無いか、住宅用火災警報器が設置されているか等を点検させていただきましたが、皆さん、驚く程に大変火に用心をされておられ、コンロ周りもとても整理整頓されている事に関心いたしました。

しかし、住宅用火災警報器については、設置してあるものの、「よく分からない」との声や、月日とともに家族の生活習慣、また、体調の変化に伴い、寝室の階数が変わる事等、私達には普段分からない事実が沢山ありました。

今回の経験から、親族、友人、ご近所さん同士がお互いに気を掛けたり、声を掛け合ったりと、最初にできる身近で有効な防火活動として、老若男女を問わず認識していただければ、住宅用火災警報器の役割や設置場所、また、お互いに注意しなければいけない箇所が共有できると感じました。

◆(団本部 鳥羽 由紀)



### 秋季火災予防運動に伴う 巡回パトロールに参加

平成28年11月15日(火)、秋の全国火災予防運動の一環として、火災予防運動巡回パトロールを実施しました。

パトロールは毎年、春と秋の年

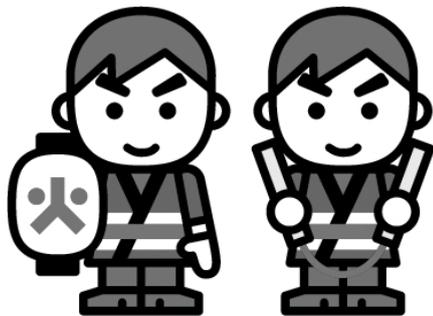
2回実施されており、女性消防団員が参加するのは今回で5回目となり、消防本部の車両に同乗して市内を巡回・広報しました。

巡回途中、龍華分団の屯所に立ち寄り、岸北西方面隊長をはじめ龍華分団の方々より手厚い激励を受け、最近の出場状況や団活動の内容等、色々なお話を聞かせていただきました。

女性消防団員は団本部に所属しており、後方支援としての活動をしているので、第一線で活躍されている分団の方とのお話は大変貴重で、とても良い勉強をさせていただきました。

これからも、八尾で活躍されている分団の方々や消防職員の方々と力を合わせて、地域のために頑張っていきたいと思えます。

◆(団本部 小山 友梨子)



### ◎ 広報部員名簿 ◎

委員長	龍華分団	中家 一真
副委員長	久宝寺分団	笠 明浩
委員	曙川分団	堤 光義
	久宝寺分団	後根 健一
	西郡分団	吉田 勝己
	八尾分団	影中 広二
	龍華分団	西田 義和
	大正分団	森口 正寿
	曙川分団	杉本 伸明
	南高安分団	乾本 智之
	高安分団	北川 晃史
	山本分団	中山 修一
	清水分団	山島 元丞
	山西分団	清島 良輔
	山根分団	西尾 宏祐
	志紀分団	山形 陽平
		目次 陽平

### 編集後記

今年度初めて委員長という大役を任せましたが、初めての事が多くて困惑する事も多々ありました。

各分団の広報委員の方々の多くの助けがあり、無事に38号・39号を刊行する事が出来ました。力不足な委員長ではありましたが、1年間支えて戴きどうもありがとうございました。

中家 一真